

提言

新国 勇



「ユビソヤナギはあそこにありますか」という問い合わせが、建設会社や通信、電力会社からよくある。ヤナギの木が、河川工事や送電線架設の支障になるからだ。

ユビソヤナギは、ヤナギ科の落葉高木で日本固有種であり、絶滅危惧種でもある。38年前、群馬県みなかみ町の湯檜曾川で発見された。自生地は長さ7m、個体数は1700本ほどという。その後、岩手県和賀川、宮城県鳴瀬川などで見つかり、今では北日本

につく・いさむ 只見の自然に学ぶ会代表。県森林文化に係る調査検討委員。県生物多様性推進協議会委員。只見町職員として町史編さんや世界ブナ・サミットの開催、只見町ブナセンターの開設に携わった後、地域の自然を見直すことによるまちづくりを続けている。

生物多様性の時代①

を中心に8か所ほどの自生地が知られている。いずれも小規模なものだが、只見川支流の伊南川には只見町檜戸から南会津町内川までの70mにわ

単にはいかない。それは生物多様性の時代となったからである。生物多様性とは、①生物が暮らす生息地が多様なこと②

遺伝子資源が日々消滅

たつて自生している。只見の自然に学ぶ会の調査では2495本を確認した。現在、ここが日本一の自生地であり、世界一ともいえる。

生物の種類が多様なこと③それぞれ生物が多様な遺伝子を持つていうことをいう。つまり、いろいろな場所で、さまざまな生き物が、それぞれ

め、問題にされないできたように感じる。ヤナギ類は水辺に多い樹木で、一般的に役に立たないと思われているが、生態学的には陸域と水域をつなぐ緩衝地帯として生き物のゆりかごのような働きをもつ。昆虫類、魚類、鳥類のえさ場、かくれ

だ。また、ヤナギの樹皮からは、アスピリンという鎮痛効果のある成分が発見されている。ほかのヤナギにもがんの特効薬が見つかるかもしれない。これは菌類からあらゆる動植物まですべての生き物について同じことがいえる。それなのに現在では地球上に生息している多種多様な生き物とその遺伝子が毎日消滅しているといわれている。

絶滅危惧種を切っても罰則規定があるわけではない。一昔前なら、重機でならしてあっさり構造物を建てることのできた。しかし、今はそう簡

違った遺伝子をもっていることが大切で、それを保全していかなければならないとされている。

これは日本が1995年に策定した生物多様性国家戦略にあり、国是ともいえるべき指針である。もともとは1992年、ブラジルのリオデジャネイロで開かれた地球サミットの折、生物多様性条約に署名したことから始まっている。同時に署名した気候変動枠組条約が異常気象の頻発などで実感されやすいのに、生

今年3月、政府は「生物多様性国家戦略2010」を閣議決定した。18日からは生物多様性条約第10回締約国会議が名古屋で開かれる。福島県では来年度を目標に生物多様性地域戦略を策定中だ。千葉、埼玉、愛知などでは策定済みだが、東北では本県が初めてという。ようやく生物多様性時代がやってきた。(次回は18日に掲載予定です)

単にはいかない。それは生物多様性の時代となったからである。

これは日本が1995年に策定した生物多様性国家戦略にあり、国是ともいえるべき指針である。もともとは1992年、ブラジルのリオデジャネイロで開かれた地球サミットの折、生物多様性条約に署名したことから始まっている。同時に署名した気候変動枠組条約が異常気象の頻発などで実感されやすいのに、生

今年3月、政府は「生物多様性国家戦略2010」を閣議決定した。18日からは生物多様性条約第10回締約国会議が名古屋で開かれる。福島県では来年度を目標に生物多様性地域戦略を策定中だ。千葉、埼玉、愛知などでは策定済みだが、東北では本県が初めてという。ようやく生物多様性時代がやってきた。(次回は18日に掲載予定です)

今年3月、政府は「生物多様性国家戦略2010」を閣議決定した。18日からは生物多様性条約第10回締約国会議が名古屋で開かれる。福島県では来年度を目標に生物多様性地域戦略を策定中だ。千葉、埼玉、愛知などでは策定済みだが、東北では本県が初めてという。ようやく生物多様性時代がやってきた。(次回は18日に掲載予定です)